

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第2区分  
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-537165(P2004-537165A)

【公表日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2004-048

【出願番号】特願2003-512995(P2003-512995)

【国際特許分類】

<i>H 01 G</i>	4/18	(2006.01)
<i>C 08 G</i>	59/50	(2006.01)
<i>H 01 B</i>	3/40	(2006.01)
<i>H 01 G</i>	4/20	(2006.01)
<i>H 05 K</i>	1/16	(2006.01)

【F I】

<i>H 01 G</i>	4/18	3 3 0 A
<i>H 01 G</i>	4/18	3 2 7 Z
<i>C 08 G</i>	59/50	
<i>H 01 B</i>	3/40	C
<i>H 01 B</i>	3/40	G
<i>H 01 G</i>	4/20	
<i>H 05 K</i>	1/16	D

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月13日(2005.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

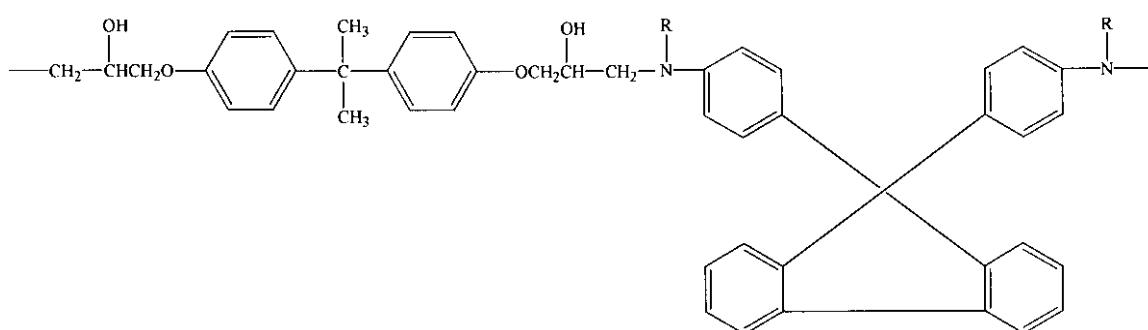
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式2

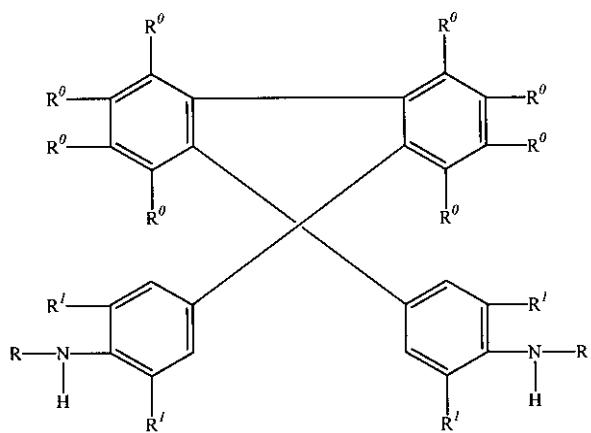
【化1】



の単位を含む硬化ポキシ樹脂組成物を含む誘電体層を備えた電気物品。

【請求項2】

エポキシ樹脂と式1  
【化2】



(式中、

各R<sup>0</sup>は、H、ハロゲン、1～6個の炭素原子を有する鎖状および分岐アルキル基、フェニル、ニトロ、アセチルおよびトリメチルシリルから独立に選択され、

各Rは、H、および1～6個の炭素原子を有する鎖状および分岐アルキル基から独立に選択され、

各R<sup>1</sup>は、R、H、フェニルおよびハロゲンから独立に選択される)

の硬化剤とを含む硬化エポキシ樹脂組成物である誘電体層を含む電気物品。